

株 主 各 位

名古屋市中区葵一丁目23番14号  
株式会社プロトコーポレーション  
代表取締役社長 神谷健司

## 第37期定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜りありがたく厚く御礼申し上げます。

さて、当社第37期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようご通知申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、書面により議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討くださいますして、同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、平成27年6月25日（木曜日）午後6時までに到着するようご返送くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

- 1.日 時 平成27年6月26日（金曜日）午前10時  
2.場 所 名古屋市中村区名駅四丁目3番25号  
キャッスルプラザ 4階 鳳凰の間  
（末尾記載の株主総会会場ご案内図をご参照ください。）

### 3.会議の目的事項

- 報告事項 1. 第37期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件  
2. 第37期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）計算書類報告の件

### 決議事項

- 第1号議案 定款一部変更の件  
第2号議案 取締役13名選任の件  
第3号議案 監査役1名選任の件  
第4号議案 退任取締役に対し退職慰労金贈呈の件

### 4.招集にあたっての決定事項

法令および当社定款第15条の規定に基づき、次に掲げる事項については、インターネット上の当社ウェブサイト(<http://www.proto-g.co.jp/IR/library/soukaidata.html>)に掲載して

おりますので、本招集ご通知の添付書類には、記載しておりません。なお、本招集ご通知の添付書類は、監査役が監査報告の作成に際して監査をした事業報告、計算書類ならびに会計監査人が監査報告の作成に際して監査をした計算書類の一部であります。

### 事業報告

1. 企業集団の現況に関する事項
  - (10) 主要な事業内容
  - (11) 企業集団の主要拠点等
  - (12) 従業員の状況
  - (13) 主要な借入先の状況
  - (14) その他企業集団の現況に関する重要な事項
2. 会社の株式に関する事項
3. 会社の新株予約権等に関する事項
4. 会社役員に関する事項
  - (4) 社外役員に関する事項
5. 会計監査人に関する事項
6. 会社の体制および方針
  - (1) 業務の適正を確保するための体制

### 連結計算書類

連結貸借対照表  
連結損益計算書  
連結株主資本等変動計算書  
連結注記表

### 計算書類

株主資本等変動計算書  
個別注記表

### 監査報告書

連結計算書類に係る会計監査人の監査報告書 謄本

以 上

~~~~~  
◎当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

◎株主総会参考書類および添付書類に修正が生じた場合は、修正後の事項をインターネット上の当社ホームページ(<http://www.proto-g.co.jp/IR/library/soukaidata.html>)に掲載させていただきます。

◎株主懇親会は開催いたしませんので、あらかじめご了承ください。

◎当日ご出席の株主様へのお土産は、取りやめとさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

# 事業報告

(自 平成26年4月1日)  
(至 平成27年3月31日)

## 1. 企業集団の現況に関する事項

### (1) 事業の経過およびその成果

当連結会計年度における我が国の経済は、政府の経済政策等により企業収益に改善が見られるものの、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減や物価上昇の影響から個人消費は弱含みで推移いたしました。一方で、世界経済においては、景気の持ち直しが見られた米国に対し、中国を中心とした新興国経済の成長率鈍化など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

こうした経済環境の中、当社グループの主要顧客である自動車販売業界におきましては、新車販売台数、中古車登録台数ともに前年実績を下回る水準で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、Gooメディア（情報誌・PC・スマホ）をデファクトスタンダードにするとともに、プライベートブランド商品・サービスの創出と事業化を通じて、多様化する価値観への対応（絶対価値の追求）を図るとともに「企業ブランド」ならびに「商品ブランド」の確立に取り組んでまいりました。具体的には、自動車関連情報分野において、カーメンテナンス専門サイト「GooPit」により、整備業界へ本格参入するとともに、中古車輸出ポータルサイト「GooAUTO」をサービスインいたしました。更に、生活関連情報分野においては、株式会社プロトメディカルケアが福祉用具レンタルサービス事業の事業譲受けを実施いたしました。

しかしながら、当連結会計年度における売上高は、主力事業である自動車関連情報分野において、主に株式会社キングスオートの中古車輸出売上および株式会社オートウェイのタイヤ通販売上が前年を下回ったことなどから、48,602百万円（対前年同期比11.2%減）となりました。

営業利益につきましては、販売費及び一般管理費は前年を下回ったものの、前述のとおり、売上高が前年を下回ったことによる売上総利益の減少分を補うまでには至らなかったことから、4,233百万円（対前年同期比10.6%減）となりました。また、経常利益につきましては、4,548百万円（対前年同期比9.2%減）、当期純利益につきましては、株式会社キングスオートの株式取得時に計上したのれんについて、同社の直近の業績動向等を踏まえ今後の回収可能性を慎重に検討した結果、回収不能見込み額として384百万円の減損損失を計上したことから、2,381百万円（対前年同期比9.4%減）となりました。

## ① 自動車関連情報

当連結会計年度におきましては、当社グループを取り巻く外部環境が厳しい状況で推移する中、「Goo-net」のバックグラウンドシステムである「MOTOR GATE」の提供を通じて、中古車販売店の総合的な経営支援を推し進めるとともに、他社メディアとの積極的なアライアンスを通じて、ユーザー接点の最大化に努めてまいりました。更に、「Goo鑑定」、「GooPLUS」、「Goo保証」、「GooPit」、「GooAUTO」など、プライベートブランド商品・サービスの拡充・拡販を図り、カーライフにおけるユーザーニーズを網羅したサービスの強化に取り組んでまいりました。

しかしながら、株式会社キングスオートにおける中古車輸出事業において、主要な仕向地である香港において高額車両の輸出が減少したこと、株式会社オートウェイのタイヤ通販事業において、消費税増税による反動減の影響によりタイヤ販売数量が減少したこと、ならびに当社における不採算事業からの撤退等の影響により、売上高は44,056百万円（対前年同期比12.1%減）となりました。営業利益につきましては、不採算事業からの撤退や株式会社オートウェイにおけるプロモーションの効率化などコスト削減を図ったものの、売上高が前年を下回ったことによる売上総利益の減少分を補うまでには至らなかったこと、および「GooPLUS」、「GooPit」、「GooAUTO」などの新規事業への先行投資が発生したことから5,624百万円（対前年同期比9.5%減）となりました。

## ② 生活関連情報

当連結会計年度におきましては、株式会社プロトメディカルケアにおける福祉用具のレンタルサービス事業において積極的なM&Aにより事業規模の拡大を図るとともに、医療・介護・福祉関連事業におけるシナジーを追求することで更なる事業拡大に取り組んでまいりました。

また、当社のカルチャー情報事業およびリサイクル・リユース事業においても、引き続きコンテンツの拡充・ユーザーの利便性向上に努めることで更なる事業拡大に取り組んでまいりました。

以上の結果、医療・介護・福祉関連事業が堅調に推移したものの、当社において不採算事業であったインターネット広告代理事業から撤退したことなどから、売上高は3,393百万円（対前年同期比4.2%減）となりました。

営業利益につきましては、株式会社プロトメディカルケアの医療・介護・福祉関連事業が増益に寄与したことと、不採算事業からの撤退により、338百万円（対前年同期比36.1%増）となりました。

## ③ 不動産

当連結会計年度におきましては、当社が自社物件の賃貸管理を中心に行い、売上高は164百万円（対前年同期比1.8%減）、営業利益は96百万円（対前年同期比38.4%増）となりました。

## ④ その他

当連結会計年度におきましては、株式会社プロトデータセンターのBPO（ビジネス プロセス アウトソーシング）事業の増収や平成26年10月1日に子会社化した株式会社アイソリューションズのシステム開発売上が寄与したことから、売上高は988百万円（対前年同期比8.2%増）となりました。営業利益につきましては、94百万円の営業損失（前年同期実績は140百万円の営業損失）となりました。

当連結会計年度の各部門別売上高は、次のとおりであります。

| 部 門 別   | 前連結会計年度      |            | 当連結会計年度      |            | 前年同期比増減      |            |
|---------|--------------|------------|--------------|------------|--------------|------------|
|         | 金 額<br>(百万円) | 構成比<br>(%) | 金 額<br>(百万円) | 構成比<br>(%) | 金 額<br>(百万円) | 増減率<br>(%) |
| 自動車関連情報 | 50,138       | 91.5       | 44,056       | 90.7       | △6,082       | △12.1      |
| 生活関連情報  | 3,541        | 6.5        | 3,393        | 7.0        | △148         | △4.2       |
| 不 動 産   | 167          | 0.3        | 164          | 0.3        | △2           | △1.8       |
| そ の 他   | 913          | 1.7        | 988          | 2.0        | 75           | 8.2        |
| 合 計     | 54,761       | 100.0      | 48,602       | 100.0      | △6,158       | △11.2      |

（注）上記は外部顧客に対する売上高を記載しております。

## (2) 設備投資の状況

当連結会計年度に実施した設備投資の総額は968百万円であり、その主なものは、「Goo-net」、「MOTOR GATE」などの開発に係るソフトウェア資産の増加であります。

## (3) 資金調達の状況

特記事項はありません。

## (4) 事業の譲渡、吸収分割または新設分割の状況

特記事項はありません。

## (5) 他の会社の事業の譲受けの状況

株式会社プロトメディカルケアは、平成26年5月1日付で株式会社ドリーミーが運営する福祉用具レンタルサービス事業を譲受けするとともに、平成26年9月1日付で株式会社和興が運営する福祉用具レンタルサービス事業を譲受けいたしました。

## (6) 吸収合併又は吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況

特記事項はありません。

## (7) 対処すべき課題

我が国の今後の経済は、政府の経済政策による下支えに加え、原油安によるエネルギー価格の下落や、個人消費についても賃上げ等による雇用・所得環境の改善もあり、緩やかな回復基調で推移するものと見込まれております。

このような経営環境の中、当社グループの主力事業である自動車関連情報分野につきましては、中古車販売店の総合的な経営支援を事業方針に掲げ、「MOTOR GATE」を通じて、引き続き取引社数の拡大を図っていく方針であります。特に、当社グループの中核事業であるGooシリーズにおいては、Gooメディア（情報誌・PC・スマホ）をデファクトスタンダードにするとともに、「Goo鑑定」、「GooPLUS」、「Goo保証」の強化をはじめ、「GooPit」、「GooAUTO」など、プライベートブランド商品・サービスの事業化を通じて、カーライフにおけるユーザーニーズを網羅したサービスの強化に努めてまいります。

更に、本年4月より連結子会社となった株式会社タイヤワールド館ベストをはじめ、株式会社オートウェイや株式会社プロトリオス等のグループ会社とのシナジーを追求するとともに、中古車販売業界だけでなく、整備業界向けサービスの拡充を通じて、自動車関連業界全体を視野に入れた事業展開を推進していく方針であります。

生活関連情報分野につきましては、医療・介護・福祉分野を最重要分野と位置付け、事業拡大を推進するとともに、カルチャー情報、リサイクル・リユース情報等の各サイトについても商品・サービスの強化を図っていく方針であります。

また、「コンテンツの拡充」と「サービスの拡充」を推進していくにあたり、グループ各社が保有する経営資源を有効活用するとともに、グループの事業・商品ポートフォリオを補完するコンテンツ・サービスにつきましては、M&A・アライアンスを積極的に活用することで、事業の成長スピードを加速させてまいります。海外事業におきましても、東アジア、東南アジアを対象として、当社グループの情報収集・提供に関するノウハウを活かした事業の早期確立を目指してまいります。

更に、企業としての社会的責任を重視し、コンプライアンスの徹底をはじめ、内部統制システムの強化にも継続して取り組むことにより、不祥事等の発生を防止する体制を構築してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

## (8) 財産および損益の状況の推移

| 区 分            | 第34期<br>(平成24年3月期) | 第35期<br>(平成25年3月期) | 第36期<br>(平成26年3月期) | 第37期<br>当連結会計年度<br>(平成27年3月期) |
|----------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------------------|
| 売上高 (百万円)      | 30,582             | 38,287             | 54,761             | 48,602                        |
| 経常利益 (百万円)     | 6,002              | 4,371              | 5,009              | 4,548                         |
| 当期純利益 (百万円)    | 3,275              | 2,290              | 2,627              | 2,381                         |
| 1株当たり当期純利益 (円) | 313.17             | 109.96             | 128.39             | 116.76                        |
| 総資産 (百万円)      | 28,585             | 34,841             | 43,907             | 41,751                        |
| 純資産 (百万円)      | 22,569             | 23,748             | 26,177             | 27,672                        |

- (注) 1. 1株当たり当期純利益は、自己株式数を控除した期中平均発行済株式総数に基づき算出しております。
2. 平成24年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。このため、第35期の1株当たり当期純利益につきましては、期首に当該株式分割が行われたと仮定し算定しております。
3. 第35期におきましては、子会社の取得ならびにインターネット広告代理事業の売上が寄与したことなどから、増収となりました。しかしながら、事業拡大に伴う人件費の増加、のれん償却額の増加に加え、「Goo鑑定」の認知度向上を目的としたプロモーション費用を投下したことなどから、減益となっております。
4. 第36期におきましては、子会社の取得ならびに「Goo」事業および中古車輸出事業の売上が寄与したことなどから、増収となりました。また、事業規模拡大に伴う人件費の増加ならびにのれん償却額が増加したものの、プロモーションの効率化や不採算事業からの撤退を図ったことなどにより、増益となっております。
5. 第37期の状況につきましては、前記「(1) 事業の経過およびその成果」に記載のとおりであります。

## (9) 重要な親会社および子会社の状況

### ① 親会社の状況

該当事項はありません。

### ② 重要な子会社の状況

| 会社名                      | 資本金         | 議決権比率   | 主な事業内容                                             |
|--------------------------|-------------|---------|----------------------------------------------------|
| 株式会社オートウェイ               | 369百万円      | 100.00% | 輸入タイヤ・ホイールの販売                                      |
| 株式会社キングスオート              | 88百万円       | 100.00% | 中古車の輸出・販売                                          |
| 株式会社バイクプロス               | 386百万円      | 100.00% | バイク専門誌の発行、バイク専門サイトの開発・運営ならびにバイクパーツ・用品の通販等          |
| 株式会社プロトリオス               | 60百万円       | 100.00% | 自動車の修理・部品に関する情報誌の発行ならびに自動車整備、修理等に関するソフトウェアの開発および販売 |
| 株式会社アイソリューションズ           | 10百万円       | 100.00% | Webシステムおよびスマートフォン・タブレット向けアプリケーションの設計・開発・販売         |
| 株式会社カークレド                | 490百万円      | 100.00% | 車両検査サービス                                           |
| 株式会社プロトメディカルケア           | 498百万円      | 100.00% | 医療・介護・福祉業界における人材紹介・人材派遣サービスならびに医療・介護・福祉関連情報サービスの提供 |
| 株式会社プロトデータセンター           | 490百万円      | 100.00% | データ入力業務等のBPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）事業                   |
| PROTO MALAYSIA Sdn. Bhd. | 50万RM       | 100.00% | マレーシアにおける中古車情報誌の発行ならびに中古車情報Webサイトの運営               |
| 台湾寶路多股份有限公司              | 263百万TWD    | 100.00% | 台湾における自動車関連情報誌の発行ならびに自動車関連情報Webサイトの運営              |
| PT. PROTO INDONESIA      | 18,000百万IDR | 100.00% | -                                                  |

- (注) 1. 平成26年10月1日付で株式会社プロトリオスは、株式会社アイソリューションズの全株式を取得し、同社を子会社化いたしました。
2. 株式会社フジヤマサービスは、平成26年5月1日付で株式会社プロトメディカルケアを存続会社とする吸収合併により消滅しております。
3. MTM Interactive Sdn. Bhd.は平成26年3月28日、PROTO SINGAPORE Pte. Ltd.は平成26年5月27日をもって清算を結了しております。
4. PT. PROTO INDONESIAについては、清算手続き中です。



以下の事項は、法令および当社定款第15条の規定に基づき、インターネット上の当社ウェブサイト(<http://www.proto-g.co.jp/IR/library/soukaidata.html>)に掲載しております。

- (10) 主要な事業内容
  - (11) 企業集団の主要拠点等
  - (12) 従業員の状況
  - (13) 主要な借入先の状況
  - (14) その他企業集団の現況に関する重要な事項
- 2. 会社の株式に関する事項
  - 3. 会社の新株予約権等に関する事項

#### 4. 会社役員に関する事項

##### (1) 取締役および監査役の氏名等

| 地 位      | 氏 名     | 担 当         | 重要な兼職の状況                                                                                                                                                               |
|----------|---------|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 代表取締役会長  | 横 山 博 一 |             | 株式会社プロトデータセンター 代表取締役会長                                                                                                                                                 |
| 代表取締役副会長 | 入 川 達 三 |             | 株式会社オートウェイ 代表取締役会長<br>株式会社キングスオート 代表取締役会長<br>株式会社バイクプロス 代表取締役会長<br>株式会社カークレド 代表取締役会長<br>株式会社プロトメディカルケア 代表取締役会長<br>PROTO MALAYSIA Sdn. Bhd. Chairman<br>台湾寶路多股份有限公司 董事長 |
| 代表取締役社長  | 神 谷 健 司 |             |                                                                                                                                                                        |
| 専務取締役    | 飯 村 富士雄 | 自動車関連情報     | 株式会社カークレド 代表取締役社長                                                                                                                                                      |
| 常務取締役    | 横 山 宗 久 | 経理・財務部門     |                                                                                                                                                                        |
| 常務取締役    | 宗 平 光 弘 | ITソリューション部門 |                                                                                                                                                                        |
| 取 締 役    | 白 木 享   | ITソリューション部門 | 株式会社プロトデータセンター 代表取締役社長                                                                                                                                                 |
| 取 締 役    | 清 水 茂代司 | 管 理 部 門     |                                                                                                                                                                        |
| 取 締 役    | 倉 元 進   |             | 株式会社オートウェイ 代表取締役社長                                                                                                                                                     |
| 取 締 役    | 櫻 井 由美子 |             | 株式会社東祥 社外監査役<br>株式会社アイケイ 社外監査役                                                                                                                                         |
| 常勤監査役    | 後 藤 光 雄 |             |                                                                                                                                                                        |
| 常勤監査役    | 鈴 木 隆 之 |             |                                                                                                                                                                        |
| 監 査 役    | 塩 見 渉   |             |                                                                                                                                                                        |
| 監 査 役    | 坂 野 郁 夫 |             | 藤久株式会社 社外監査役                                                                                                                                                           |

- (注) 1. 取締役櫻井由美子氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 監査役鈴木隆之、塩見渉、坂野郁夫の3氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
3. 当社は、取締役の業務執行権を企業規模ならびに組織の拡大に応じて委譲することを目的とした執行役員制度を導入いたしております。当社が導入している執行役員制度では、特定の部門を所管している執行役員に取締役が有する業務執行権と同等の権限を与え、その担当職務の執行状況について、適宜、取締役会への報告を求めることといたしております。なお、平成27年4月1日現在の執行役員は、藤澤直樹、兎洞則之、大出章人、松沢章博、善甫能尚の5氏であります。
4. 代表取締役副会長入川達三氏は、平成26年4月1日付で株式会社バイクプロス、株式会社カークレドおよび株式会社プロトメディカルケアの代表取締役会長に就任し、平成26年5月1日付で株式会社キングスオートの代表取締役会長およびPROTO MALAYSIA Sdn. Bhd.のChairmanに就任し、平成26年5月26日付で台湾寶路多股份有限公司の董事長に就任し、平成26年10月1日付で株式会社オートウェイの代表取締役会長に就任いたしました。また、平成27年4月1日付で株式会社タイヤワールド館ベストの代表取締役会長に就任いたしました。
5. 取締役倉元進氏は、平成26年10月1日付で株式会社オートウェイの代表取締役社長に就任いたしました。

## (2) 事業年度中に退任した取締役

| 退任時の会社<br>における地位 | 氏 名     | 退任時の担当および<br>重要な兼職の状況                | 退任日        |
|------------------|---------|--------------------------------------|------------|
| 常務取締役            | 沖 村 敦 矢 |                                      | 平成26年7月31日 |
| 取締役副社長           | 齊 藤 実   | 生 活 関 連 情 報 担 当<br>株式会社オートウェイ代表取締役社長 | 平成26年9月30日 |

(注) 常務取締役沖村敦矢、取締役副社長齊藤実の両氏は辞任による退任であります。

### (3) 取締役および監査役の報酬等の総額

| 区 分   | 支給人員 | 報酬等の総額 |
|-------|------|--------|
| 取 締 役 | 12名  | 257百万円 |
| 監 査 役 | 4名   | 17百万円  |
| 合 計   | 16名  | 274百万円 |

- (注) 1. 当事業年度に係る役員賞与の支給はありません。
2. 上記の報酬等の総額には、通常報酬のほか、取締役および監査役に対し退任時に支給することが予定されている退職慰労金相当額のうち、当事業年度の職務執行に対応する部分の金額が含まれておりません。
3. 取締役の報酬限度額は、平成12年6月28日開催の第22期定時株主総会において、年額1,000百万円以内と決議いただいております。
4. 監査役の報酬限度額は、昭和60年1月20日開催の臨時株主総会において、年額30百万円以内と決議いただいております。

以下の事項は、法令および当社定款第15条の規定に基づき、インターネット上の当社ウェブサイト(<http://www.proto-g.co.jp/IR/library/soukaidata.html>)に掲載しております。

#### (4) 社外役員に関する事項

##### 5. 会計監査人に関する事項

##### 6. 会社の体制および方針

###### (1) 業務の適正を確保するための体制

## (2) 剰余金の配当等の決定に関する方針

当社では、経営基盤の強化と同時に、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題として認識しており、継続的かつ安定的な配当に留意するとともに、将来の成長に備えるための内部留保の充実等を総合的に勘案したうえ、利益還元に努めることを基本方針といたしております。

内部留保資金につきましては、経営基盤の一層の強化ならびに事業規模の拡大を図るため、既存事業ならびに新規事業への投資資金として有効に活用してまいります。

こうした方針のもと、当事業年度の期末配当につきましては、1株につき普通配当19円とし、平成27年6月5日を支払開始日とする旨、平成27年5月8日開催の取締役会において決議いたしております。当事業年度におきましては、平成26年11月に1株につき普通配当19円の間配当を実施いたしておりますので、年間配当は1株につき38円となっております。

また、次期の剰余金の配当につきましては、中間配当ならびに期末配当それぞれにおいて、1株当たりの普通配当を19円とする予定であります。

- 
- (注) 1. 本事業報告に記載の金額等につきましては、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。  
2. 記載しております金額には、消費税等は含んでおりません。

# 貸借対照表

(平成27年3月31日現在)

(単位：千円)

| 資 産 の 部         |                   | 負 債 の 部         |                   |
|-----------------|-------------------|-----------------|-------------------|
| 科 目             | 金 額               | 科 目             | 金 額               |
| <b>流動資産</b>     | <b>9,374,182</b>  | <b>流動負債</b>     | <b>4,182,965</b>  |
| 現金及び預金          | 6,872,313         | 買掛金             | 547,270           |
| 受取手形            | 71,105            | 未払金             | 119,640           |
| 電子記録債権          | 6,200             | 未払費用            | 1,603,453         |
| 売掛金             | 1,952,545         | 未払法人税等          | 794,311           |
| 未収入品            | 5,162             | 前受金             | 455,887           |
| 商品及び製品          | 4,161             | 預り金             | 153,643           |
| 仕掛品             | 12,381            | 返品調整引当金         | 35,206            |
| 材料及び貯蔵品         | 4,875             | その他の            | 473,552           |
| 前払費用            | 243,223           | <b>固定負債</b>     | <b>400,160</b>    |
| 繰延税金資産          | 179,520           | 役員退職慰労引当金       | 253,200           |
| その他の引当金         | 23,152            | 資産除去債務          | 53,448            |
| 貸倒引当金           | △459              | その他の            | 93,512            |
| <b>固定資産</b>     | <b>22,238,740</b> | <b>負債合計</b>     | <b>4,583,126</b>  |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>7,583,853</b>  | <b>純資産の部</b>    |                   |
| 建物(純額)          | 3,424,265         | 株主資本            | 26,908,142        |
| 構築物(純額)         | 74,985            | 資本金             | 1,824,620         |
| 機械及び装置(純額)      | 33,270            | 資本剰余金           | 2,011,734         |
| 車両運搬具(純額)       | 10,740            | 資本準備金           | 2,011,536         |
| 工具、器具及び備品(純額)   | 51,248            | その他資本剰余金        | 198               |
| 土地              | 3,727,137         | <b>利益剰余金</b>    | <b>23,979,788</b> |
| 建設仮勘定           | 262,206           | 利益準備金           | 254,155           |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>1,751,464</b>  | その他利益剰余金        | 23,725,633        |
| 借地権             | 236,695           | 別途積立金           | 21,500,000        |
| ソフトウェア          | 1,426,258         | 繰越利益剰余金         | 2,225,633         |
| 電話加入権           | 23,818            | <b>自己株式</b>     | <b>△908,000</b>   |
| 水道施設利用権         | 967               | 評価・換算差額等        | 121,653           |
| ソフトウェア仮勘定       | 63,725            | その他有価証券評価差額金    | 121,653           |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>12,903,422</b> | <b>純資産合計</b>    | <b>27,029,796</b> |
| 投資有価証券          | 382,971           | <b>負債・純資産合計</b> | <b>31,612,922</b> |
| 関係会社株           | 11,334,539        |                 |                   |
| 出資              | 23,561            |                 |                   |
| 破産更生債権等         | 2,667             |                 |                   |
| 長期前払費用          | 13,328            |                 |                   |
| 繰延税金資産          | 445,893           |                 |                   |
| 敷金及び保証金         | 99,542            |                 |                   |
| 長期預金            | 600,000           |                 |                   |
| その他の引当金         | 3,586             |                 |                   |
| 貸倒引当金           | △2,667            |                 |                   |
| <b>資産合計</b>     | <b>31,612,922</b> |                 |                   |

# 損益計算書

(自平成26年4月1日)  
(至平成27年3月31日)

(単位：千円)

| 科 目          | 金 額        |
|--------------|------------|
| 売上高          | 24,523,836 |
| 売上原価         | 11,402,018 |
| 売上総利益        | 13,121,818 |
| 返品調整引当金戻入額   | 31,546     |
| 返品調整引当金繰入額   | 35,206     |
| 差引売上総利益      | 13,118,158 |
| 販売費及び一般管理費   | 8,962,653  |
| 営業利益         | 4,155,505  |
| 営業外収益        |            |
| 受取配当金        | 2,603      |
| 受取配当金の他      | 114,867    |
| その他          | 53,470     |
| 営業外費用        |            |
| 支払利息         | 2,007      |
| その他          | 4,529      |
| 経常利益         | 4,319,909  |
| 特別利益         |            |
| 固定資産売却益      | 39         |
| 固定資産売却減損     | 6,859      |
| 特別損失         | 180,000    |
| 特別損失         |            |
| 固定資産除却損      | 17,611     |
| 関係会社株式評価損    | 716,390    |
| 子会社清算損       | 65,336     |
| その他          | 100        |
| 税引前当期純利益     | 3,707,370  |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,637,000  |
| 法人税等調整額      | △223,427   |
| 当期純利益        | 1,413,573  |
|              | 2,293,797  |

株主資本等変動計算書および個別注記表ならびに連結計算書類は、法令および当社定款第15条の規定に基づき、インターネット上の当社ウェブサイト (<http://www.proto-g.co.jp/IR/library/soukaidata.html>) に掲載しております。

# 会計監査人の監査報告書 謄本

## 独立監査人の監査報告書

平成27年5月13日

株式会社プロトコーポレーション  
取締役会御中

有限責任 あずさ 監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 宮本 正司<sup>Ⓔ</sup>  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 中村 哲也<sup>Ⓔ</sup>  
業務執行社員

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社プロトコーポレーションの平成26年4月1日から平成27年3月31日までの第37期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

強調事項

個別注記表の重要な後発事象に記載されているとおり、会社は平成27年4月1日付けで株式会社タイヤワールド館ベストの株式を取得し子会社化した。

当該事項は、当監査法人の意見に影響を及ぼすものではない。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

連結計算書類に係る会計監査人の監査報告書謄本は、法令および当社定款第15条の規定に基づき、インターネット上の当社ウェブサイト (<http://www.proto-g.co.jp/IR/library/soukaidata.html>) に掲載しております。



監 査 報 告 書

当監査役会は、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの第37期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役から監査の方法及び結果の報告を受け協議した結果、全員の一致した意見として、以下のとおり報告いたします。

1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- 三 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人 有限責任 あずさ監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

(3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人 有限責任 あずさ監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

平成27年5月14日

株式会社プロトコーポレーション監査役会

|              |      |   |
|--------------|------|---|
| 常勤監査役        | 後藤光雄 | Ⓞ |
| 常勤監査役（社外監査役） | 鈴木隆之 | Ⓞ |
| 社外監査役        | 塩見渉  | Ⓞ |
| 社外監査役        | 坂野郁夫 | Ⓞ |

以上

## 株主総会参考書類

### 第1号議案 定款一部変更の件

#### 1. 変更の理由

- (1) 当社および子会社における今後の事業展開を踏まえ、現行定款第2条（目的）について所要の変更を行うものであります。
- (2) 平成27年5月1日施行の「会社法の一部を改正する法律」（平成26年法律第90号）において定款の定めにより、業務執行取締役等でない取締役および監査役との間でも責任限定契約を締結することが認められたことに伴い、それらの取締役および監査役についても、その期待される役割を十分に発揮できるよう、また継続的に有用な人材を確保できるようにするため、現行定款第28条（取締役の責任免除）および第38条（監査役の責任免除）について所要の変更を行うものであります。なお、現行定款第28条（取締役の責任免除）の変更につきましては、監査役全員の同意を得ております。
- (3) 平成27年5月1日施行の「会社法の一部を改正する法律」（平成26年法律第90号）において補欠役員の予選に関する規定の項数が変更されておりますので、現行定款第33条（監査役の任期）について所要の変更を行うものであります。



## 第2号議案 取締役13名選任の件

取締役全員（10名）は、本総会終結のときをもって任期満了となります。つきましては、経営体制の強化およびコーポレート・ガバナンスの一層の強化を図るため、新たに3名（うち社外取締役1名）増員し、取締役13名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者番号 | 氏名<br>(生年月日)                        | 略歴、地位、担当および重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 所有する<br>当社株式の数 |
|-------|-------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 1     | よこやま ひろいち<br>横山 博一<br>(昭和25年2月2日生)  | 昭和54年6月 当社代表取締役社長<br>平成15年4月 当社代表取締役会長（現任）<br><br>(重要な兼職の状況)<br>株式会社プロトデータセンター 代表取締役会長                                                                                                                                                                                                                                                  | 840,100株       |
| 2     | いりかわ たつぞう<br>入川 達三<br>(昭和33年9月27日生) | 平成4年6月 当社入社<br>平成7年3月 当社取締役<br>平成11年4月 当社常務取締役<br>平成13年3月 当社専務取締役<br>平成15年4月 当社代表取締役社長<br>平成26年4月 当社代表取締役副会長（現任）<br><br>(重要な兼職の状況)<br>株式会社オートウェイ 代表取締役会長<br>株式会社タイヤワールド館ベスト 代表取締役会長<br>株式会社キングスオート 代表取締役会長<br>株式会社バイクプロス 代表取締役会長<br>株式会社カークレド 代表取締役会長<br>株式会社プロトメディカルケア 代表取締役会長<br>PROTO MALAYSIA Sdn. Bhd. Chairman<br>台湾寶路多股份有限公司 董事長 | 103,600株       |
| 3     | かみや けんじ<br>神谷 健司<br>(昭和43年2月17日生)   | 平成2年3月 当社入社<br>平成12年5月 当社執行役員<br>平成14年6月 当社取締役<br>平成25年4月 当社常務取締役<br>平成26年4月 当社代表取締役社長（現任）                                                                                                                                                                                                                                              | 42,720株        |

| 候補者番号 | 氏名<br>(生年月日)            | 略歴、地位、担当および重要な兼職の状況                                                                                                                               | 所有する<br>当社株式の数 |
|-------|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 4     | 飯村富士雄<br>(昭和32年9月6日生)   | 平成2年10月 当社入社<br>平成13年1月 当社執行役員<br>自動車関連情報担当(現任)<br>平成14年6月 当社取締役<br>平成20年4月 当社常務取締役<br>平成25年4月 当社専務取締役(現任)<br><br>(重要な兼職の状況)<br>株式会社カークレド 代表取締役社長 | 35,440株        |
| 5     | 横山宗久<br>(昭和35年1月23日生)   | 昭和54年6月 当社入社<br>平成7年3月 当社取締役<br>経理部門(現経理・財務部門)担当(現任)<br>平成13年6月 当社常務取締役(現任)                                                                       | 262,280株       |
| 6     | 宗平光弘<br>(昭和42年5月8日生)    | 平成6年3月 当社入社<br>平成16年4月 当社執行役員<br>平成19年6月 当社取締役<br>平成25年3月 ITソリューション部門担当(現任)<br>平成25年4月 当社常務取締役(現任)                                                | 26,588株        |
| 7     | 白木とある<br>(昭和45年4月22日生)  | 平成10年8月 当社入社<br>平成18年4月 当社執行役員<br>平成19年6月 当社取締役(現任)<br>平成22年1月 事業推進部門(現ITソリューション部門)<br>担当(現任)<br><br>(重要な兼職の状況)<br>株式会社プロトデータセンター 代表取締役社長         | 10,020株        |
| 8     | 清水茂代司<br>(昭和40年10月29日生) | 平成11年8月 当社入社<br>平成15年4月 当社執行役員<br>管理部門担当(現任)<br>平成20年6月 当社取締役(現任)                                                                                 | 18,160株        |
| 9     | 倉元進<br>(昭和35年12月5日生)    | 平成2年3月 当社入社<br>平成11年6月 当社取締役(現任)<br><br>(重要な兼職の状況)<br>株式会社オートウェイ 代表取締役社長                                                                          | 54,700株        |

| 候補者番号 | 氏名<br>(生年月日)                           | 略歴、地位、担当および重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                | 所有する<br>当社株式の数 |
|-------|----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 10    | さくら い ゆ み こ<br>櫻井由美子<br>(昭和44年3月1日生)   | 平成4年10月 監査法人伊東会計事務所（現有限責任あずさ監査法人）入所<br>平成12年1月 櫻井公認会計士事務所開設（現任）<br>平成21年6月 株式会社東祥 社外監査役（現任）<br>平成22年8月 株式会社アイケイ 社外監査役（現任）<br>平成26年6月 当社取締役（現任）<br><br>(重要な兼職の状況)<br>株式会社東祥 社外監査役<br>株式会社アイケイ 社外監査役 | 0株             |
| 11    | ※ ふじ さわ なお き<br>藤澤直樹<br>(昭和42年12月15日生) | 平成元年6月 当社入社<br>平成18年4月 当社執行役員（現任）<br>平成26年10月 生活関連情報担当（現任）                                                                                                                                         | 2,100株         |
| 12    | ※ う どう のり ゆ き<br>兎洞則之<br>(昭和46年10月9日生) | 平成8年12月 当社入社<br>平成26年4月 当社執行役員（現任）<br>自動車関連情報担当（現任）                                                                                                                                                | 2,980株         |
| 13    | ※ こん どう えり こ<br>近藤恵理子<br>(昭和33年4月7日生)  | 昭和56年4月 ダンアンドブラッドストリートジャパン株式会社入社<br>平成2年4月 同社オペレーションディレクター<br>平成12年12月 同社代表取締役社長<br>平成23年12月 株式会社グローブリンク設立<br>代表取締役社長（現任）<br>平成27年3月 東邦レマック株式会社 社外取締役（現任）<br><br>(重要な兼職の状況)<br>東邦レマック株式会社 社外取締役    | 0株             |

- (注) 1. 各取締役候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。
2. ※印は新任取締役候補者であります。
3. 櫻井由美子氏および近藤恵理子氏は社外取締役候補者であります。なお、櫻井由美子氏の当社社外取締役就任期間は、本総会終結のときをもって1年となります。
4. 社外取締役候補者とした理由は、以下のとおりです。  
櫻井由美子氏は、公認会計士、税理士として、財務および会計分野における豊富な経験と知見を有しており、客観的視点で独立性をもって経営の監視を遂行するに適任であると判断し、社外取締役候補者といたしました。  
近藤恵理子氏は、株式会社グローブリンクの代表取締役を務められており、経営者としての豊富な経験と幅広い見識をもとに、当社の経営全般に助言を頂戴することにより、コーポレート・ガバナンスの強化に寄与していただくため、社外取締役候補者といたしました。
5. 当社は、櫻井由美子氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。また、近藤恵理子氏についても、独立役員として指定し、同取引所に届け出る予定であります。

### 第3号議案 監査役1名選任の件

監査役後藤光雄氏が、本総会終結のときをもって任期満了となりますので、あらためて監査役1名の選任をお願いするものであります。

なお、本議案に関しましては、監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は、次のとおりであります。

| 氏名<br>(生年月日)                   | 略歴、地位および重要な兼職の状況                                                                                                  | 所有する<br>当社株式の数 |
|--------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| ごとうみつお<br>後藤光雄<br>(昭和24年4月4日生) | 平成16年7月 パナソニックテレコム株式会社入社<br>平成19年4月 同社常任監査役(常勤)就任<br>平成21年6月 同社常任監査役(常勤)退任<br>平成23年3月 当社入社<br>平成23年6月 当社常勤監査役(現任) | 0株             |

(注) 監査役候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。

### 第4号議案 退任取締役に対し退職慰労金贈呈の件

平成26年9月30日をもって取締役を辞任されました齊藤実氏に対し、その在任中の功労に報いるため、当社の定める一定の基準に従い、相当額の範囲内において、退職慰労金を贈呈いたしたいと存じます。

なお、その具体的金額、贈呈の時期、方法等は、取締役会にご一任願いたいと存じます。

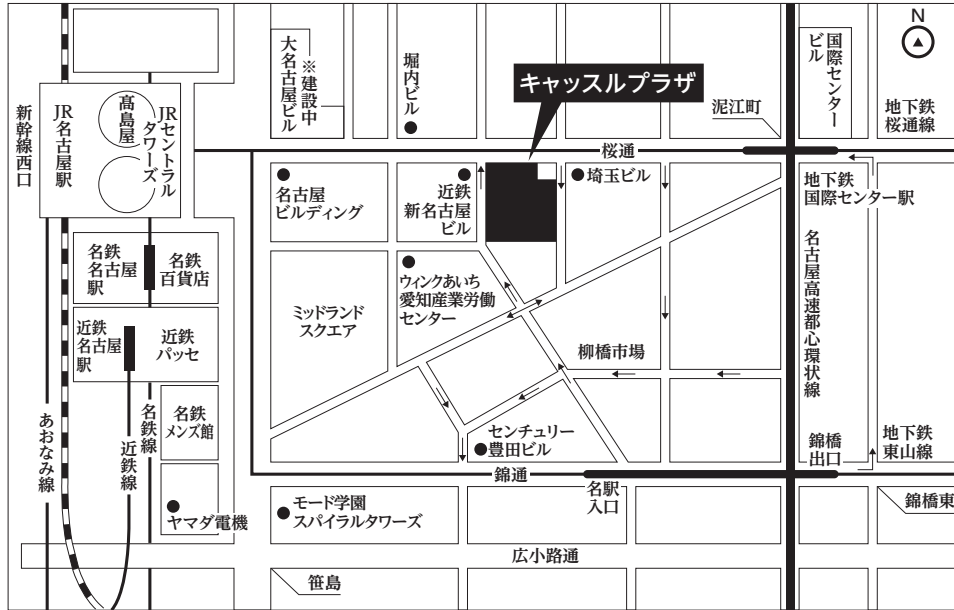
退任取締役の略歴は、次のとおりであります。

| 氏名             | 略歴                                                                                       |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| さいとうみのる<br>齊藤実 | 昭和63年3月 当社取締役<br>平成元年3月 当社常務取締役<br>平成7年3月 当社専務取締役<br>平成13年3月 当社取締役副社長<br>平成26年9月 当社取締役辞任 |

以上

# 株主総会会場ご案内図

(場所および電話番号) 名古屋市中村区名駅四丁目3番25号  
 キャッスルプラザ 4階 鳳凰の間  
 TEL.052-582-2121



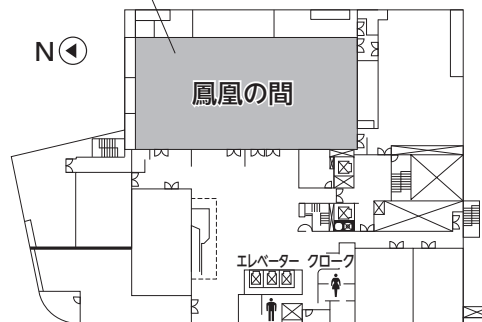
◇ 電車・地下鉄でお越しの場合

- JR「名古屋駅」より徒歩8分
- 名鉄「名鉄名古屋駅」より徒歩10分
- 名古屋市営地下鉄「名古屋駅」より徒歩5分  
 ※ユニモール地下街「11番出口」すぐ

◇ お車でお越しの場合

- 中部国際空港 より約60分 (※高速道路利用)
- 県営名古屋空港 より約20分 (※高速道路利用)
- 名古屋高速錦橋出口 より約3分
- 東名古屋高速名古屋インター より約30分

## 株主総会会場



### <4Fフロアご案内図>

- ◎ 株主懇親会は開催いたしませんので、あらかじめご了承ください。
- ◎ 当日ご出席の株主様へのお土産は、取りやめとさせていただきますので、あらかじめご了承ください。
- ◎ 当日の株主総会の模様は、総会終了後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。